

WEB コーディネイトサイトの構築

岩崎 哲也* 田中 英隆* 斉藤克英* 千種 康民*

東京工科大学 工学部 情報工学科

1. はじめに

ユーザの嗜好は多岐にわたるため、多品種少量の人形用など衣料を売る際、店舗として成立するのは難しい場合が多いが、インターネット販売が可能なら、ビジネス的に成立する可能性が向上する。

そこで、本研究の目的は、ユーザの嗜好に応じたセミカスタムメイドを実現する WEB コーディネイトサイトを実用化する事である。実際に WEB でユーザの嗜好にあったコーディネーションを対話的に作成してもらい、該当する衣料を製造者側に発注することを目指している。

2. システム構成と特徴

構築する EC サイトのコンポーネントを以下に示す。

- WEB サーバ：login 処理，商品画像表示，注文受付
- アプリケーションサーバ：顧客情報の参照，商品の検索，注文処理，見積管理
- データベース：MySQL，JDBC を用いてアクセス

2.1 サイト利用における操作性

本サイトを利用するにあたり，WEB ブラウザで全ての操作が可能であり，ほとんどの操作はマウスのみで行うことが可能である。また，コーディネーションの際には，アイテムの画像を用いて，対話的にアイテムを決定できるため，アイテムの交換，色，などの変更の際して，WYSWYG の操作性を実現している。

2.2 ユーザ登録をする利点

- ユーザ登録をする利点として以下の点が挙げられる
- ・名前や住所を入力し，適切な販売処理が可能である
- ・ユーザ ID とパスワードのみで本人確認ができる
- ・ID としてのメールアドレスなどの変更が容易である
- ・ユーザ ID をメールアドレスとしており，本人が覚えやすく，また ID の重複を防ぐことにもなる

3. 着せ替えアプレットの処理

着せ替え用のアイテムおよびパーツは分類されており，コーディネーションを楽しめるようになっている (図 2)。

WEB COORDINATOR SITE

Tetuya IWASAKI*, Hidetaka TANAKA*, Katuhide SAITO*, Yasutami CHIGUSA*,

*Tokyo University of Technology,

E-Mail chigusa@cc.teu.ac.jp

URL <http://www.teu.ac.jp/chiit/>

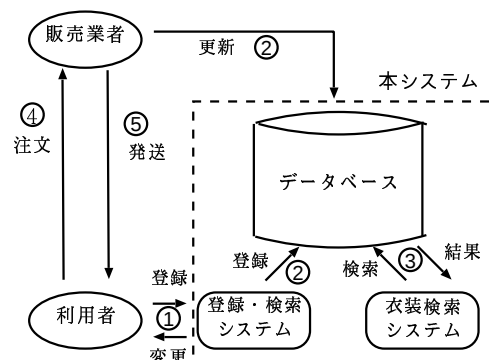


図 1: システム全体



図 2: 着せ替えアプレット画面

アイテムやパーツは対応するタブを選択し，用意してあるパーツ，アイテムなどを決定する。アイテムなどの決定の際にして，対話的に左側の人形のアイテムが自動的に変更になる。

服選択	セーラー服	えり，服
	ブレザー	ブレザー，えり，服
ネクタイ・リボン		
ズボン		
靴		
その他		

表 1: アイテム分類表

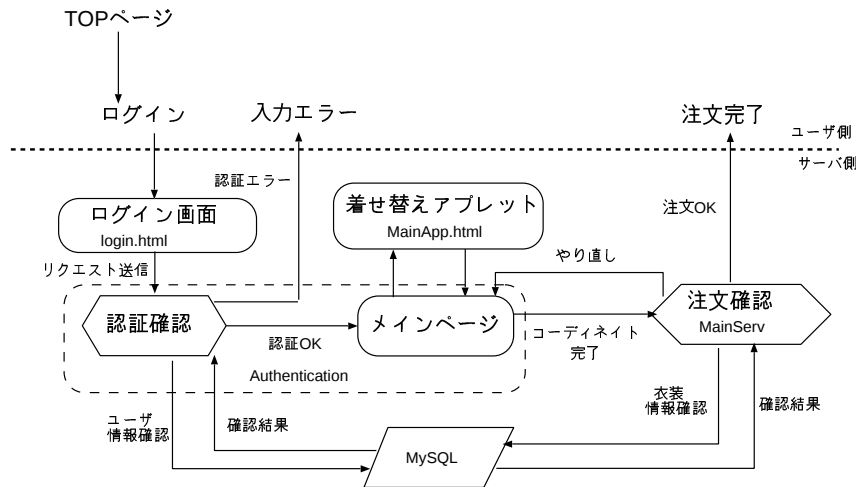


図 3: 全体の流れ

4. 実行結果

4.1 ユーザ登録情報管理の操作方法

ユーザは、まず、サイトの index.html にアクセスする。初めての利用の場合は「ユーザ登録」を完了させる。そこで login することによりサイトのサービスが利用できるようになる (図 3)。

5. まとめと今後の課題

商品を WYSWYG の対話的な形でコーディネートできるシステムが完成した。

今後は、システム全般に関しては、

- セキュリティの強化
- メールアドレスのなりすまし防止

等といった点を改善して行く予定である。

コーディネーションのアプレットに関しては、

- アイテム毎に色、生地を変更可能にする
- アイテム数の追加

等といった機能追加を検討して行く。

参考文献

- [1] <http://www.so-net.ne.jp/chappie/what/cordination.html>
- [2] Steven Holzner, 「Java Swing プログラミング」, インプレス, 2000.

図 4: ユーザ登録入力フォーム画面 (touroku-top.html)

図 5: 買物カゴ画面 (shop.jsp)